

◆日本共産党の見解を紹介します。  
<http://toride.jcpweb.net>  
 メール [jcp.toride@blue.ocn.ne.jp](mailto:jcp.toride@blue.ocn.ne.jp)  
 ◆ご意見、ご要望をお寄せください。

# 明るい取手

2012年9月23日(日)  
 発行:日本共産党取手市委員会  
 取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を  
 ■高木晶市委員長/TEL:74-2004  
 ■加増みつ子市議/TEL:74-8154  
 ■遠山ちえ子市議/TEL:83-8290  
 ■鈴木きよし市議/TEL:74-8160  
 ■関戸 勇市議/TEL:78-0500

「ウェルネス・タウン取手の創造」に

9月定例取手市議会開会中 9月5日～26日(予定)

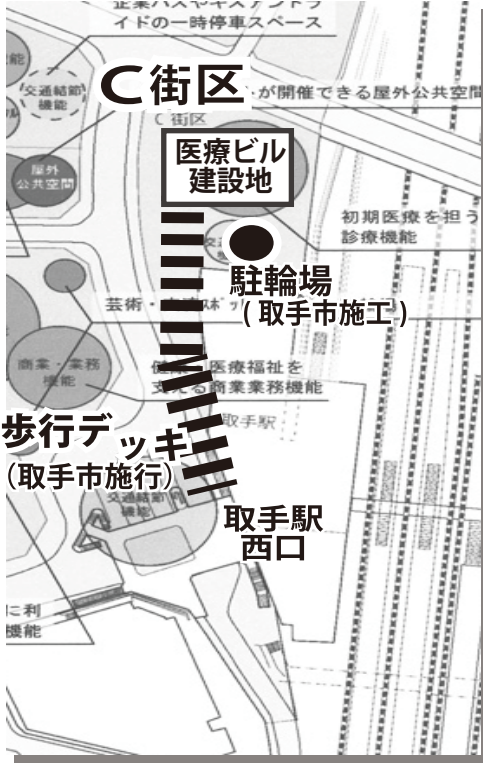
# 待った!

歩行者デッキ

駐輪場

# 建設予算否決

14日開かれた取手市議会建設経済委員会で、JR取手駅西口前に建設する「歩行者デッキ」と「駐輪場」建設費約5億6800万円(平成24年度分)などを含む取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算が反対多数で否決されました。9月定例市議会最終日26日の本会議で採決されます。「ウェルネスプラザ」関係予算の執行停止を求める請願など2件はいずれも継続審査扱いに。



**駅西口デッキ(既設)**

**歩行者デッキ (幅4m、長さ118メートル)**

「歩行者デッキ(幅4mX長さ118m)1メートル当たりで653万円の「豪華、通路…」

**総事業費 7億7千万円**

**民間の医療ビル**

**駐輪場**

機械式+自走式  
 自転車785台、  
 原付きバイク78台  
 計863台を収容

**機械式部分**

**自走式部分**

**総事業費 6億4千万円**



**利用者減少すると予測しながら、それでも「駐輪場」新設する…不可思議**

「駐輪場」/利用者が今後減少することを考慮し、「自走式」(全体の約5割)部分の建築物は、10年後には他の利用に用途変更するとしている。

## 「ウェルネスプラザ」関係予算の執行停止を求める請願など2件は継続審査 住民への説明を・調査特別委員会の設置を

「ウェルネスプラザ整備計画(案)関係予算の執行停止を求める請願書

【請願事項】

1. 「(仮称)ウェルネスプラザ整備計画案」に対する市民意見公募に寄せられた意見(180件)の全面公開とそれぞれの意見に対する対応についての住民説明会を実施すること。
2. 昨年7月、取手駅北土地利用計画・「ウェルネス・タウン取手の創造」の住民懇談会などで市が説明した内容から、事業費総額が大幅に膨らんだことなど計画変更になった部分とその変更理由を明らかにし「ウェルネス・タウン取手の創造」について住民懇談会をやり直すこと。
3. 上記の2項目についての住民への説明責任が果たされるまで、「ウェルネスプラザ」実施設計委託料1億円(公園整備設計含む)の執行を停止すること。

財政(資金)計画が大幅に変更(拡大)された「ウェルネス・タウン取手の創造」に関する請願書

【請願事項】

1. 一年前の議会及び住民懇談会で説明された「ウェルネス・タウン取手の創造」の事業費総額は38億円でした。46億円にも総事業費が拡大したすべての理由を事業ごとに資金計画の詳細と合わせて明らかにすること。
2. 「新市まちづくり計画」、「財政計画」に含まれない事業(「ウェルネスプラザ」)への合併特例債活用について「旧合併特例法」と特例債制度の法的根拠を明らかにすること。
3. 「ウェルネス・タウン取手の創造」の資金計画では、「合併特例債」を22億円(当初)、そのうち「ウェルネスプラザ」に6億円余を活用するとし、「合併特例債」の7割(15億円)は交付税措置を見込んでいます。「合併特例債延長法」の成立(平成24年6月20日)はあるものの、交付税措置額は、算定替の期限切れによる影響について考慮されていません。合併特例終了後を見通した交付税措置額の見込みを明らかにすること。
4. 事業計画提案を採用し公有地を売却したC街区への(仮称)「取手メディカルセンター」の建築確認(平成24年6月12日付)済みの建築物が当初の事業計画から変更された経過と原因、その影響について明らかにすること。
5. 前記の4項目について取手市として市民への十分な説明責任が果たされるまで、「ウェルネス・タウン取手の創造」全事業を停止し、関連予算は執行しないこと。
6. 前記項目始め「ウェルネス・タウン取手の創造」について十分な調査・審議を行う「調査特別委員会」を市議会に設置すること。

## 地域説明会

**小学校統合に異論続出!!**

戸頭、白山で説明会

説明会で出された住民の意見は裏面に

一人で悩まずに お電話を  
 電話 72-7816

弁護士無料法律相談/生活相談・労働相談



### 戸頭西小を廃止し、戸頭東小に統合 戸頭東小で 地域説明会

9月15日、戸頭西小を廃止し、戸頭東小に「統合」案の地域説明会が戸頭東小体育館で開かれ、約30名の住民が参加。教育委員会より、取手市立小学校適正配置計画「小学校の統合計画について」及び「戸頭東小・戸頭西小の統合」を、スライドを用いて約1時間の説明。その後、質疑、意見がだされました。

●教育委員会・市の「取手が発展しないから、こうなっちゃう」と言う考え方に疑問をもった。「統合」について国の通達（「無理な統廃合せず、住民との合意を得て」）があると聞いたが、それについてどのように考えているのか。学校は教育の場でもあるが、住民にとって万が一のことが起こった場合、避難の場でもある。それについて、どう考えるのか。教育委員会は生徒を増やすことを考えていないのか。

●市の説明図には、「文部省助成課資料」と書いてある。「統合」したら助成金が出るということは、教育的観点から「適正規模」という意味では無いのではないかと。将来、いま0～5歳児が戸頭西小に入る時には2クラスの人数である。将来は30人学級と言われており、戸頭西小もずっと2クラスになって、理想的な規模になるのではないかと。小学校は発達段階から言っても、身近な学校、小さな学校が最適。世界でも小さな学校で効果を上げている。中学から高校へと進むにつれてだんだん大きな集団になっていく。父母や教職員が運動をして来てやると文科省も少人数学級を実現に向かっていく。今、なぜ「統合」する必要があるのか。山王小や小文間小のような小さな学校では、デメリットで上げてあるようなことができないというのか。今の子どもたちや先生方

に対して失礼だ。授業を見せてもらったが素晴らしい授業をされているし、子どもたちがしっかり考えを発言していた。

●文科省が35人学級を進めているが、平成29年から30人学級という計画でいくと、5学級ほど教室を増やさなければならぬが、スペースはあるのか。

高井小はなぜ計画に入っていないのか。7学級しか無いのに。

●「統廃合」の答申がでた2008年以降、急に戸頭西小の児童数が減ってきた。

●今年、計画案が決定されたら、来年の戸頭西小の1年生は0に近い数になり、再来年の1年生も0に近い数になって1年生、2年生のいない学校になってしまうのではないですか。3年生より上の児童しかいない学校が、うまく運営できるのですか。

●始めから「統合」有りき、の説明だった。「子どもが減ったから何とかしてくれ。統廃合してくれないか」と市民から市に要望や相談があったのか。以前勤めていた学校で児童数がすごく減ってしまった時、教師からも父母からも『「統合」してほしい』という声は出なかった。市が自分たちだけで決めて進めていると思ってしまう。「児童の人数が減って、学習面で影響が出た」と説明されたが、小規模校で良い結果を出している所が日本にも、外国もたくさんある。学

習面なら小規模校のほうがよく見ていける。デメリットは工夫すれば解決できることです。小規模校でしか体験出来ないこともある。

●計画の説明で小規模校のメリットとして書かれていることは、すごく良いことです。しかし、デメリットの方は、大人が無理やり考えたように思う。デメリットは改善の余地があり工夫しだいで解決できるものです。避難所は大事な場所であり、3.11以降見直しがされないのはおかしいと思う。市当局と相談したのですか。住民合意が重要ということですが、子どもや父母の思いと関係なく進められているが、反対の声が上げられれば、やめるのか。どういう場合に、住民合意が得られたと判断するのですか。

●市議会で決まるというが、住民合意が先ですよ。地域の問題であり、子どもの問題なんです。懇切丁寧に時間をかけてやって、大方の人が「いいな、というのが住民合意です。地域は混乱していますと議会に報告するならいいですよ。地域が主役なんです。そこを履き違えないようお願いします。

●野々井中の「統廃合」の説明会の時、藤井市長は「取手市はお金がないんです」と発言、今回もお金の絡んだ問題なのですか。教育費を削ると取手市の未来はなくなりますよ。

### 白山西小を廃止し、稲小に統合 白山西小で 地域説明会

9月15日、白山西小学校を廃止し、稲小学校に「統合」する計画についての地域説明会が白山西小体育館で開かれ、約30名の住民が参加しました。

●参加者が少なくびっくりした。大切なことは、PTAの中でもっと知らせるべきだ。

●今日の説明会の知らせが私のところに来なかった。修繕にお金がかかるというけれど、どのくらいかかるのか。口だけで言わないで。何のための「統合」なのか。

●お兄ちゃんたちが卒業して、今度下の子が入学する予定。小規模校が良い。街の中にある西小を残すべき。統合するのは待ってほしい。説明資料だけではわからない。

●新町に住んでいます。「統廃合」のメリット・デメリットは？

●川があり緑があり、保育園・病院があるから22～3年前に取手市へ越してきた。3人の子は白山西小を卒業した。今は子どもが少なくなり、魅力もなくなる。取手市の財政が大変というが、優先すべきは魅力ある取手市をつくることではないか。ウエルネスではない施策を。野々井中がなくなり、取手二中は1クラス40人を超えてしまうほど。人数が少なければそれだけ目を向ける

ことができる。耐震化の予定は？、耐震化に金をかけたくないのか。

●白山西小がなくなったらどうするのか。

●「統合」は決まっていらないと言うが、どうということか？ 統合する流れで合意形成とはどうやっていくのか？

●「統合」反対です。小規模校大賛成。いい教育をして若い人を取手に取り込んでもらいたい。子どもの教育予算を削るのは、大反対です。子どもを大切にしてほしい。「ウエルネスプラザ」を建てる金があれば子どものために使ってほしい。

●「統合」するといっているが、野々井中、二中は先生も子どもも大変と聞く。小学校と中学校とは違うが、中学校の問題点は？

●「統廃合をバンと出したのは、H20年。お母さんたちは「西小がなくなる」どこに行ったらいいのか…議員から白山西小の跡地はこうなるとチラシが出されている。

●通学の距離を2.2キロと決めつけないで。

関鉄ニュータウンだから、寺原小にしなさいと言われた。自分の子どもが来年1年生になる。関鉄ニュータウン以外の子どもに危険な294号線を渡らせるのか。道路整備してください。

●「統廃合」は学校経費の削減のようだ。やるべきではない。人口が減ると言うが全国的にも同じだ。子育てのところからしっかりやるべき。取手市全体の問題で、保育所を3箇所もつぶし、民間に施設をただであげる。野々井中は20億円もかけているのに3億円で売却。工場誘致というが今不景気で来ない。「ウエルネス」はやるべきでない、あるものを使うべき（東急ビル）。お金は何に使うのか？教育に使った長岡藩のコメ100俵の話にもある。キャノン前交差点、道路が良くなれば車も多くなる。命を守るということを考えるなら、294号線を渡らないで通学できる白山西小をなくさないでほしい。通学距離2.2キロは子どもにとって危険である。近いところに学校はあるべきです。

